

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	171	172	173	174	175
事業名	子どもの人権に関する啓発	「子どもを育てる10か条」の啓発促進	北九州っ子サポート団体ネットワーク活動の推進	心の教育推進事業	地域会議推進事業（非行少年への理解）
事業概要	子どもの人権を尊重する意識を高めるため、様々な機会を通して子どもの人権についての普及・啓発に努める。	家庭や地域の教育力の向上を目指して公募方式で制定した「子どもを育てる10か条」について、広く市民に普及・実践してもらうよう、様々な啓発活動を行う。	子どもたちの未来のために、市民団体・企業・行政・学校等が連携してネットワークを組織し、相互交流や事業などの相互協力、市民への広報・啓発活動などを行う活動を推進し、市民が一体となって子どもたちを支援していく。	市民一人一人に「子どもの心」「心の教育」について考えてもらうきっかけとなる講演等を実施するとともに学校教育における様々な体験活動を通して、心の教育を推進する。	主として中学校区単位に、自治会や社会福祉協議会、PTAなどで組織された地域会議を充実、推進し、地域ぐるみで非行少年の健全育成・非行防止への取り組みを進める。
指標	-	-	-	-	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	-	-	-	-
目標年度： 目標値	-	-	-	-	-
実施年度： 実績値	-	-	-	-	-
19年度 実施状況等	<p>【子ども家庭局】 子どもの人権啓発に関連する研修会の開催、講演会への講師派遣、市政だよりへの関連記事の掲載などを実施している。</p> <p>【保健福祉局】 人権週間記念講演会 ・日時：12月7日 ・場所：門司市民会館 ・参加人数：402人 ・内容：倉富 史枝（NPO法人福岡ジェンダー研究所理事・事務局長） 「ドメスティック・バイオレンスと子どもの虐待」</p>	チラシ・ポスターの配布 出前講演 推進モデル事業の実施（12団体）	平成20年2月15日に交流会を実施。 平成20年3月現在、71団体。	公立幼稚園全8園で小学校との交流を実施。 その他各市立学校・幼稚園で体験活動を実施。	75地区において、各種行事に取り組んでいる。
備考 (特記事項)				中学生「夢」会議の参加者数を目標に設定していたが、平成17年度で終了したため、目標値を削除した。	
担当(課)	子ども家庭・子ども総合センター、 子ども家庭政策課、保健福祉局・ 人権文化推進課	教育・生涯学習課	教育・企画課	教育・指導企画課	子ども家庭・青少年課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	176	177	178	179	180
事業名	教育委員会の広報・広聴機能の充実	定期的な教育情報の発信（教育長等による定例記者会見）	教育委員会情報化（IT化）推進事業	学校情報の発信	開かれた学校づくり推進事業
事業概要	新聞やテレビ、ラジオなどのメディアを活用し、学校や地域、行政などが行う教育活動を積極的に市民に情報発信するとともに広く市民から意見を聴取し、開かれた教育委員会を目指す。	教育長等による積極的な記者会見を行うことで、「開かれた教育委員会」づくりを推進する。あわせて、教育委員会内部の活性化を図る。	ホームページをさらに充実し、市民への情報提供や意見の収集を円滑に行うとともに、オンライン化による学校事務の軽減や、インターネット経由による各種講座や施設の予約など、IT化推進計画を策定し、体系的なIT化を推進する。	開かれた学校を推進するため、「学校広報マニュアル」を活用し、学校通信員が中心となって、積極的に学校の情報を発信する。また、すべての市立学校のホームページの充実を図る。	学校教育に対する理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有することを目的に、11月1日から8日の一週間、保護者や市民が自由に市立学校・園を見学できる「学校開放週間」を実施する。
指標	-	記者会見件数	-	話題提供数	-
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-	15年度：13件	-	15年度：165件	-
目標年度： 目標値	-	21年度：18件	-	21年度：400件	-
実施年度： 実績値	-	19年度：35件	-	19年度：86件	-
19年度 実施状況等	パブリシティ活動（投げ込み、学校の話題提供） 広告・宣伝（メディアキャンペーン等） (1)新聞 定期的な教育情報の発信「読売・毎日10段広告」 (2)ラジオ クロスFM子どもを育てる10か条スポットCM (3)他広告媒体 「こども文化パスポート事業」おやこDEきたきゅうしゅう情報箱掲載など 広聴（市民の声、ホームページメールなど）	記者会見件数：35件（H19記者会見例） ・小学校給食にPEN食器使用 ・35人以下学級の導入について	「北九州市IT推進計画」に基づき事業実施。 体育施設予約システムを再構築。	学校の話題提供数：86件（話題提供例） ・地域との交流 ・入学式等で特徴のある取り組み等	市立の幼稚園・小学校・中学校・養護学校・戸畑商業高等学校・戸畑高等専修学校・高等理容美容学校で実施。 90,525人が訪れた。
備考 (特記事項)					
担当(課)	教育・企画課	教育・企画課	教育・企画課	教育・企画課	教育・指導企画課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	181
事業名	インターネットを活用した学校・教育情報の提供 (パソコン整備事業の一部)
事業概要	家庭や地域と学校との連携や子どもの多様性に対応した教育を進めるため、インターネットの双方向情報伝達機能を生かした学校情報、教育情報の提供を推進する。(～H18)
指標	接続の高速化
初期年度： 初期値 (計画策定時)	16年度：52.9%
目標年度： 目標値	18年度：99.0%
実施年度： 実績値	-
19年度 実施状況等	18年度事業終了
備考 (特記事項)	18年度事業終了
担当(課)	教育・学事課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	182	183	184	185	186
事業名	生活体験通学合宿事業	じょいんと倶楽部	生き生き子ども講座	元気な子どもをはぐくむ地域・学校連携(スクールヘルパー配置)事業	大学等高等教育機関との連携
事業概要	小学生が、市民センターに1週間程度寝泊りしながら通学し、掃除や洗濯などの生活体験や異年齢との交流活動、集団生活などを体験する。	市民センターの登録クラブが小学校のクラブ活動の時間帯と一緒に活動し、学びあい、教えあうことを通して、子どもと地域の大人との交流を深める。	学校週5日制に伴い、週末における子どもたちの学校外活動の場として、市民センターにおいて子ども向け講座等を実施する。	地域の教育機能を学校教育に生かすため、地域の人材を「スクールヘルパー」として学校に登録し、子どもの安全対策や悩みの相談、授業を手伝うなど市立幼・小・中・特別支援学校のさまざまな教育活動を支援する。	近隣の大学と連携し、大学の教官や学生が小学校や市民センターで、子どもの学習への興味を高める講座を実施する。また、教職員研修に大学教授等を派遣するなど、教員の資質向上に向けた取組を実施する。
指標	延べ実施箇所数	延べ実施箇所数	実施箇所数	-	-
初期年度: 初期値 (計画策定時)	16年度: 37箇所	16年度: 19箇所	16年度: 全市民センター	-	-
目標年度: 目標値	21年度: 87箇所	21年度: 26箇所	21年度: 全市民センター	-	-
実施年度: 実績値	19年度: 74箇所	-	19年度: 全市民センター	-	-
19年度 実施状況等	11箇所の市民センターで実施。 (うち地域の自主事業として1箇所実施) 参加人数: 172人	17年度事業終了。	全市民センター128館で実施。	登録者数: 6,082人 延べ活動回数: 84,714回	大学教員による出張講義: 13回 北九州市立高校教員による講義: 7回
備考 (特記事項)		モデル事業として事例の提示ができたため、平成17年度で事業終了。		19年度拡充(ハートフル子どもプラン)	
担当(課)	教育・生涯学習課	教育・生涯学習課	教育・生涯学習課	教育・指導第二課	教育・指導第一課、企画課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	187	358
事業名	学習プログラム研究事業	学校における学生ボランティアの活用
事業概要	学校教育と社会教育の連携・融合に関して関係者の理解を図るとともに、学校や地域の実情に応じた効果的学習プログラムについて調査・研究を行う(～H17)	学生、特に教員志望の学生を市立の各学校で受け入れ、授業や課外活動を支援してもらう。これにより学校の活性化のみならず、将来の教員候補を拡大し、教員志望者に実務経験の機会を増やすことで適材確保を図る。
指標	調査・研究	—
初期年度： 初期値 (計画策定時)	16年度：調査・研究	—
目標年度： 目標値	17年度：事例集等作成	—
実施年度： 実績値	—	—
19年度 実施状況等	17年度事業終了。	福岡教育大学と協定を締結し、学生ボランティア10人配置。
備考 (特記事項)	17年度事業終了	19年度新規事業
担当(課)	教育・ 生涯学習総合センター	教育・教職員課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	188	189	190	191	192
事業名	シンナー等乱用防止対策事業	出会い系サイトをはじめとする有害環境対策事業	薬物乱用防止等啓発事業	少年補導委員活動	北九州市学校警察連絡協議会事業
事業概要	様々な犯罪を引き起こす入口となっているシンナー等乱用少年の補導者数は、県下の約4割を占めるなど依然として憂慮すべき状況であることからシンナー等乱用撲滅に向け、行政と地域が一体となった総合的な対策を推進する。	「出会い系サイト」をはじめとするインターネット・携帯電話でのトラブルに子どもたちが巻き込まれる事件が多発し、青少年を取り巻く新たな有害環境として問題になっていることから、広報・啓発を中心とした有害サイト等メディア上の有害情報対策を推進する。	青少年の薬物乱用防止に向け、小学校におけるシンナー乱用防止教室を実施するとともに、各種啓発資料を作成・配布する。 また、街頭啓発キャンペーンや研修会等により、広く啓発活動を行う。	少年補導委員を委嘱し、地域において、補導活動、環境浄化活動に努めるとともに少年非行防止活動についての情報交換などを行う。	児童生徒の健全育成を図るため、市内すべての小・中・養護・高等学校と警察が連携・協力して、非行の未然防止や犯罪からの保護、安全確保のため学校にとって必要な情報収集や広報等を行なう。
指標	シンナー等薬物教室、夜間補導の参加者人数	作成配布数	-	補導活動回数	-
初期年度：初期値(計画策定時)	15年度：14,364人	15年度：なし	-	15年度：3,194回	-
目標年度：目標値	21年度：21,300人	19年度：25,000枚	-	20年度：3,930回	-
実施年度：実績値	19年度：20,402人	19年度：20,000枚	-	19年度：3,998回	-
19年度実施状況等	シンナー等薬物乱用防止教室、夜間補導 ・参加者数：20,402人 ・達成率：105.7% シンナー対策モデル地区事業 3地区指定(継続3)	携帯電話に関する保護者向け啓発リーフレット増刷 ・作成部数：25,000部 ・配布先：市立全小学校1,2年生の保護者 ・配布数：20,000部 (達成率：80.0%)	薬物乱用防止教育研修会 ・参加者：489名 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動ヤング街頭キャンペーン ・参加者：264名 シンナー乱用防止教室 ・参加者：小学生110名 啓発資料の作成 (中学生用マニュアル、指導者用マニュアル、消しゴム、携帯ストラップ、ボールペン、クリアファイル) 薬物乱用防止広告の掲載	補導活動回数：3,998回 (達成率：101.7%)	年4回の一斉補導学警連大会・情報交換会の実施
備考(特記事項)				少年補導委員活動は昭和53年から実施しているが、補導活動回数に係るデータは平成15年度以降分しか残っていない。	
担当(課)	子ども家庭・青少年課	子ども家庭・青少年課	保健福祉・地域医療課 医務業務課	子ども家庭・青少年課	教育・指導第二課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	193
事業名	「落書き消去隊」活動促進事業
事業概要	地域住民、企業、商店街、学校、NPO等落書き消し活動に賛同する団体に対して、落書き消し用具等を提供して活動を支援し、落書きが多いJR駅周辺、商店街等の重点区域における落書きの一掃を図る。
指標	重点区域内消去率
初期年度： 初期値 (計画策定時)	-
目標年度： 目標値	21年度：100%
実施年度： 実績値	-
19年度 実施状況等	2団体に対して支援実施
備考 (特記事項)	事業状況により、事業概要、指標などを変更。 (各区1拠点 落書きの多い地区を重点的に実施へ)。
担当(課)	総務市民・ 安全・安心課

健全育成

【(8)子どもの人権が尊重され、感性豊かに健やかに成長できる環境づくり】
基本施策/社会全体で子どもをはぐくむ意識の醸成

事業番号	194	195
事業名	施設、園庭の地域への開放	保育所・幼稚園情報の積極的な提供
事業概要	地域住民の理解を深め、開かれた保育所・幼稚園づくりを推進するため、未就園児と保護者に施設や園庭の開放を促進するとともに、行事への地域住民の参加を促すなど、安全管理のもとで開放的な雰囲気づくりに取り組む。	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組む。
指標	実施施設割合	ホームページの開設施設割合
初期年度： 初期値 (計画策定時)	16年度：50%	16年度：50%
目標年度： 目標値	21年度： (幼稚園)80% (保育所)80%	21年度： (幼稚園)80% (保育所)100%
実施年度： 実績値	19年度：(幼稚園)54.8% (公立幼稚園)8園 (私立幼稚園)49園 (保育所)95%	19年度：(幼稚園)79.8% (公立幼稚園)8園 (私立幼稚園)75園 (保育所)75%
19年度 実施状況等	<p>【公立幼稚園】 全8園での子育て広場の年間開催回数113回 地域の年長者との交流を実施</p> <p>【私立幼稚園】 49園で実施</p> <p>【保育所】 未就園児とその保護者を対象に遊びと子育ての悩み等相談事業の実施、年長者との伝承的行事を通じた関わりなどを実施している。 ブックスタート事業などを通して、地域子育て支援の身近な施設としての役割を担っている。</p>	<p>【公立幼稚園】 ホームページの更新 子育て情報誌「はぐくみ」年間3回発行</p> <p>【私立幼稚園】 75園でホームページ公開</p> <p>【保育所】 各区役所保健福祉課窓口に全保育所の概況を設置。 市内各保育所のホームページを作成中(一部済)。</p>
備考 (特記事項)		
担当(課)	子ども家庭・保育課、 教育・企画課、 指導第一課	子ども家庭・保育課、 教育・企画課、 指導第一課